

舛本慧子

【留学先】 Clinique Pasteur Toulouse

【テーマ】 カテーテル的大動脈弁置換 (TAVI) 術後の弁機能に対するバルーン後拡張の影響

【経過報告書】

Bonjour! フランス・トゥールーズに位置する Clinique Pasteur に留学し、3ヶ月が経過しました。本施設は年間1,200件以上のTAVIを施行するフランス有数のstructural heart diseases (SHD)センターです。私は現在、Dr. Didier Tchetché、Dr. Nicolas Dumonteil 両氏の指導のもと、TAVI、TEER、TMVR、経皮的三尖弁治療といった最先端治療の実地臨床に深く携わっています。世界中から志の高いフェローが集結する刺激的な環境の中、欧州における高度な手技を習得する日々を過ごしております。臨床と並行し、本邦では得難い大規模データベースを活用した臨床研究にも注力しています。SHD診療をより安全かつ効果的に導くためのイメージング手法や治療戦略に関する新たなエビデンスの創出を目指しています。国際色豊かなフェローとの議論を通じ、研究成果を世界へ発信できる臨床研究者としての基盤を築くとともに、本留学で得た知見を将来の日本の循環器診療に還元できるよう精進する所存です。